

令和5年度 施政方針

基本姿勢

私は市長就任以来、「未来ある糸満市の子どもたちに誇れるまちづくり」を実現するため、「市民に寄り添い、心の通った政治」を理念として、地域活性化や新しいまちづくり、子育て支援などに取り組んでまいりました。

これまで、市民の皆さまと約束した公約の取り組み状況につきまして、「今、そして未来の子どもたちに誇れる糸満市づくりに挑戦！」に掲げた30の公約のうち、29の公約について達成また



糸満市長 一当銘 眞栄

行政経営課
840-8193

広報 いとまんの

タイトル(題字) 変更しました！

市民の皆さまから親しまれる広報誌を目指して、広報いとまんのタイトルを募集し、去年の10月号から今年の9月号まで4人のタイトルを3カ月ずつ掲載することになりました。

今月号から6月号までタイトルを担当するのは、この企画3人目となる副田百合子さんです。7月号には新しいタイトルが控えているので楽しみに。

そ え だ ゆ り こ
副田 百合子さん



百合子さんコメント：糸満の良さが伝わるように想いを込めて書きました。糸満の「糸」は、少し太めに書いて力強さを表現しました。

は着手済みという状況であります。引き続き、公約実現に取り組むとともに、行政運営の原点は市民本位であることを念頭に、現場に赴き、市民の皆さまの声を聴き、対話を重視する市政運営を目指してまいります。

糸満市がさらに繁栄し、にぎわいや活気のあるまちとなるよう「子どもの育み事業」、「真栄里地区の新たなまちづくり」についても、市民の皆さまとともに実現していきたいと考えております。

本市の人口は、毎年微増傾向ではあります。人口は、毎年微増傾向ではあります。人口減少は地域の経済・産業活動の縮小につながり、税収は伸び悩み、その一方で高齢化の進行から社会保障経費の増加が見込まれていることから、本市の財政運営はますます厳しい局面を迎えることとなります。

このような課題を克服し、若者から選ばれるまち、生涯にわたり元気に生き生きと住み続けられるまちを目指して、活力ある糸満市づくりに邁進していくとともに、市民の皆さまのいのちと暮らしを守り抜くことを大きな使命

地域おこし協力隊

ルドさんが行く #23

【伝統的知識も気候を救う】

このコラムは外国人移住者の目で見えた糸満の魅力伝えるのが趣旨ですが、振り返ってみたら、地産地消、資源の再利用、自然と調和する旧暦文化、マングローブやウミガメなど、暮らし環境を守るための伝承すべき文化について偏った内容になってしまっています。

元からエコロジに関して敏感ですが、私に限らず、移住してきた方がよく共通に感じるものがあります。二つ目は、糸満の自然が美しく感じる事です。「糸満はもう都会だ」とたまに言われますが、朝の鳥のさえずりから海岸沿いのテッポウユリの香り、鮮やかな青いイノーまで、毎日感激です。人工的な公園しかない暮らしになんか戻れません。二つ目は、美しさと共に自然環境の弱さも痛感します。小さな島で暮らしている今こそ、海岸の人工化、埋立、海洋ごみ、開発計画、珊瑚の白化現象、生物多様性の喪失を目の当たりにしています。二つ目は、東京の生活で感じるものが難しい「民族知識や「伝統的知識」の存在と重要さです。詳しい定義はここで踏み込めませんが伝統的知識は祖先が培って、伝承して蓄積したその地域で持続的に活用されている知識を差します。

3月20日にIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第6次評価報告書が公開されましたが、その内容では気候変動によって気温が現時点で1.1度上昇し、10年以内に1.5度に昇る予測になっています。日本政府を含んで、195カ国が承認したIPCC報告書の36ページの政策決定者向け要約は、人類にとつて最重要な資料で、是非是非読んで欲しいです。人類への最後通牒のような暗い内容とともに、記者会見ではトップダウン政策の行き詰まりで、最低限の目標を達成するためには各政府だけではなく、人・コミュニティ・市・県・国・国際的なレベルでアクションが必要不可欠だと訴えました。大事な珊瑚礁で囲っている太平洋の島に位置し、漁業・農業・観光などが基盤となっている糸満市ではなおさら、早急に生き方を変えないといけません。

そこで、祖先の知恵と現代のテクノロジーを織り込んで、各地域に適した持続可能な生活形式を作るのに、伝統的知識が大事な役割を果たせます。具体的に、どういうことか？例えば浜辺に食べられる植物を見分けたり、昔、糸満で栽培されていた麦、大豆の記録を使つて復活させたり、島野菜やアダン料理の復活や加工、薬草の作用や使い方を習い直すなどと共に、市民参加型の農作物収穫でゆいまる文化を強化するなどです。地域で生活が完結できる知恵を極限に活かすのが重要です。気候変動、地産食品、地域文化の伝承、すべて繋がっています。

糸満では、アボガドの自然的な栽培、循環型ファーム、コミュニティで米栽培など、東道盆料理を再現したり、帆掛サバを使った観光商品など、過去の知的財産と将来のビジョンを持つて、前向きな挑戦をしている方がたくさんいます。今こそ、応援してみんなで糸満の持続可能な生活形式を作っていきますよ！

告書の36ページの政策決定者向け要約は、人類にとつて最重要な資料で、是非是非読んで欲しいです。人類への最後通牒のような暗い内容とともに、記者会見ではトップダウン政策の行き詰まりで、最低限の目標を達成するためには各政府だけではなく、人・コミュニティ・市・県・国・国際的なレベルでアクションが必要不可欠だと訴えました。大事な珊瑚礁で囲っている太平洋の島に位置し、漁業・農業・観光などが基盤となっている糸満市ではなおさら、早急に生き方を変えないといけません。

そこで、祖先の知恵と現代のテクノロジーを織り込んで、各地域に適した持続可能な生活形式を作るのに、伝統的知識が大事な役割を果たせます。具体的に、どういうことか？例えば浜辺に食べられる植物を見分けたり、昔、糸満で栽培されていた麦、大豆の記録を使つて復活させたり、島野菜やアダン料理の復活や加工、薬草の作用や使い方を習い直すなどと共に、市民参加型の農作物収穫でゆいまる文化を強化するなどです。地域で生活が完結できる知恵を極限に活かすのが重要です。気候変動、地産食品、地域文化の伝承、すべて繋がっています。

糸満では、アボガドの自然的な栽培、循環型ファーム、コミュニティで米栽培など、東道盆料理を再現したり、帆掛サバを使った観光商品など、過去の知的財産と将来のビジョンを持つて、前向きな挑戦をしている方がたくさんいます。今こそ、応援してみんなで糸満の持続可能な生活形式を作っていきますよ！

すべての妊産婦、子育て世代、子どもの包括的な相談支援などを行う「子ども家庭センター」の令和6年度の設置を見据え、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターとの連携を一層強化し、切れ目ない子育て支援の充実を図ります。

妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援を推進するとともに、出産育児関連費用の負担軽減を図るため、妊娠届出後と出生届出後にそれぞれ5万円相当の経済的支援を行います。

教育・保育の質の向上や保育教諭の確保などを目的に、令和6年4月に公立こども園2園を公私連携幼保連携型認定こども園に移行します。今後、運営事業者へ丁寧な引継ぎを行い、子どもたちやご家族が安心して移行できるよう取り組みます。

放課後の安全・安心な居場所を確保するため、旧潮平こども園の建物を活用し、放課後児童クラブの設置に取り組みます。

喫緊の課題である待機児童の早期解消のため、保育士の処遇改善を行うほか、新たに県外からの保育士の採用を促す宿舍借り上げ支援事業や就職支援

重点策1 子どもたちの未来を拓く環境づくり

中長期的な観点から教育行政を推進するため、教育を巡る諸課題の解決を図り、新たな視点と方向性を示す指針となる教育振興基本計画を策定します。

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成するため、これまでに配布した個人用タブレットの積極的な使用とタブレットドリルの効果的な活用を推進し、ICTを生かした学習機会を提供します。また、小中学校の電子黒板の機能強化を図るなど、ICT環境の整備を推進します。

就学援助について、新入学児童生徒学用品費の援助単価の引き上げを行い、対象者のさらなる支援に努めます。

重点策2 笑顔があふれ、人が躍動するスポーツ先進都市の創造

西崎運動公園の魅力や機能の向上を目指し、天候に左右されない屋内多目的運動場の整備を行い、市民の健康増進の場としての活用をはじめ、フット

沖縄県糸満市 Itooman City			
■人口			
	2月	前月比	
人口	62,482	-109	
男	31,659	-73	
女	30,823	-36	
世帯数	28,079	-43	
※()内は令和5年の累計			
■面積 46.60Km ² (2021年10月1日現在)			
■市の花木	ブーゲンビレア	■市の木	ガジュマル
■市の花	日日草	■市の魚	タマン
(人口、世帯数、火災・救急件数は2023年2月末現在)			
■火災・救急			
	2月	前年比	
火災	4件 (6件)	2 (3件)	
救急	296件 (629件)	70 (145件)	

広報 いとまん

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FM たまん)

- ・月～金
- ① 7時45分～7時50分
- ② 12時55分～13時
- ③ 17時55分～18時
- ・土～日
- ④ 12時55分～13時